

令和2年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 1月予報

【イチゴ】ハダニ類

寄生株率の高いほ場が確認されています。同一ほ場内でも局所的な発生があるため、よく観察してください。天敵を導入したほ場で発生が抑制できない場合は、薬剤による防除を徹底した後、再び天敵を導入してください。

【施設野菜全般】灰色かび病

現在、調査ほ場で発生は確認されていませんが、悪天候が続く場合に発生する可能性があります。枯死部位は本病の発生源となるため、早めに取り除き、ほ場外へ持ち出して処分してください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測（1月）

作物	病害虫名	1月(予測)	発生状況及び今後の予測	12月(発生)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、降水量は平年並と予測され、悪天候が続く場合の発生には注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・灰色かび病 発病果や枯死した果梗は見つけ次第除去し被害の拡大を防ぐ。 ・ハダニ類 ほ場内をよく観察し、局所的な発生に注意する。また、防除薬剤は同一系統の連用を避ける。
	うどんこ病	少	一部地域で発病が認められる。今後、気温は発病適温より低下するため、急激な増加はないと予測される。	少	
	ハダニ類	並	発生量は平年より少ないが、一部ほ場では局所的な発生が認められている。	少	
	コナジラミ類	少	一部調査ほ場で発生が認められるが、今後、気温は発生適温より低下するため、急激な増加はないと予測される。	少	
トマト	灰色かび病	少	葉先枯れ等での発病は認められない。悪天候が続く場合はほ場内の湿度が高まるため、発病に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・コナジラミ類 厳寒期でもほ場内では低密度で生息しているため防除を徹底する。
	コナジラミ類	少	発生量はほ場内・外とも平年より少ない。今後、気温は発生適温より低下するため、急激な増加はないと予測される。	少	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場では発病は認められない。罹病性品種を栽培する場合は、発病に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> * 12月調査は長期越冬栽培 1月予報は半促成栽培 ・べと病 暖房機や循環扇等を利用し、葉の結露時間を少なくする。また、罹病葉を取り除き、薬剤散布を行う。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。
	うどんこ病	少	調査ほ場で発病が認められるが、平年より少ない。今後、気温は発病適温より低下するため、急激な増加はないと予測される。	少	
	べと病	少	調査ほ場の発病は平年より少ない。曇天が続く場合、ほ場内の湿度が高まるため、罹病性品種では増加が予測される。	少	
	アザミウマ類	少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温は発生適温より低下するため、急激な増加はないと予測される。	少	
	コナジラミ類	並	調査ほ場で発生が認められるが、今後、気温は発生適温より低下するため、急激な増加はないと予測される。	多	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種：イチゴ(濃姫・美濃娘)、トマト(桃太郎ネクスト：葉かび病耐病性)、キュウリ(ニーナ：うどんこ病、べと病、褐斑病耐病性)

野菜類 灰色かび病

本病はトマトやイチゴの果実、茎葉、葉柄、花卉、ガクなどで発生します。果実に発生すると褐変または軟化・腐敗するため、出荷できません。

この時期は、保温のために施設を閉め切るため、湿度が高くなります。気温が高く推移すると、暖房機の稼働時間が短くなり、トマトやイチゴの濡れ時間が長くなります。さらに曇天が続くと、感染好適条件となり、本病の発生が懸念されます。

本病の発生を確認した場合、感染部位が拡大する前に葉先枯れや枯死した花卉・果梗に発生した発病部位は除去してください。

数値データ (岐阜・西濃地域 12月調査)

イチゴ			
灰色かび病	(発病果率)	0	(0.1)
うどんこ病	(発病株率)	0	(0.0)
ハダニ類	(寄生株率)	7.3	(23.1)
コナジラミ類	(寄生株率)	0.7	(1.7)
トマト			
灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
〃	(発病株率)	0	(0.2)
コナジラミ類	(誘殺頭数)	1.0	(1.9)
キュウリ			
褐斑病	(発病葉率)	0	(0.3)
うどんこ病	(発病葉率)	1.5	(3.0)
べと病	(発病葉率)	0.7	(5.0)
アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.04)
コナジラミ類	(寄生頭数/葉)	0.01	(0.00)

注1)イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリは1ほ場の調査

注2)()内数値は平年値 果率、株率及び葉率は%

注3)トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板での調査データ(12月1半旬~3半旬までの累計誘殺数)

＝施設栽培の病害虫について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内及び周囲の状況をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

＝東海地方1か月予報＝

(名古屋地方気象台 12月24日発表)

向こう1か月の気温は平年より低く、降水量及び日照時間はほぼ平年並です。平年と同様に晴れの日が多いでしょう。山間部では、平年に比べ曇りや雪の日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他にも病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸 729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病害虫防除所
トップページ
QRコード